

## 事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 31年3月31日

2次評価日（課長等） 31年3月31日

1 事業名	自主防災組織育成事業	コード	91202
-------	------------	-----	-------

2 担当部課	部等 総務部	課等 危機管理室	作成者 小林 隆志
--------	--------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政策	安全・安心な暮らしの確保	施策	危機・防災・減災対策の推進
		予算科目	自主防災組織育成事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	災害対策基本法 岡谷市自主防災組織防災資機材購入費等補助金交付要綱ほか		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	「自助」「互助」「共助」の根幹となる自主防災組織の育成及び強化のため、研修会・講習会の開催及び案内、防災・減災啓発事業等の開催に対して連携を図ったほか防災資機材の整備に係る費用に支援を行った。			
目的	対象者	21区自主防災組織		
	意図	自主防災組織の育成強化		

5 事業の実施内容		*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容														
1	自主防災組織防災資機材購入費等補助金	<table border="1"> <tr> <td>全体</td> <td>17団体</td> <td>1,699,000円</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td>15団体</td> <td>1,660,000円（防災資機材）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2団体</td> <td>39,000円（啓発事業）</td> </tr> </table>			全体	17団体	1,699,000円	内訳	15団体	1,660,000円（防災資機材）		2団体	39,000円（啓発事業）			
全体	17団体	1,699,000円														
内訳	15団体	1,660,000円（防災資機材）														
	2団体	39,000円（啓発事業）														
2	自主防災組織等への出前講座	2回 56人（災害クロスロード、避難所運営ゲーム（HUG））														
3	水防訓練	5月20日 岡谷市湖畔公園芝生広場 自主防災組織、消防団、市職員 138人（うち、自主防災組織員52人） 土のう作成訓練、積み土のう訓練、改良積み土のう訓練、ロープワーク訓練														
4	諏訪広域防災啓発共同事業 防災講演会（当番市町村：諏訪市）	<table border="1"> <tr> <td>開催</td> <td>7月14日（土）</td> <td>諏訪市文化センター</td> </tr> <tr> <td>演題</td> <td colspan="2">熊本地震から学ぶもの ～自助・共助の重要性～</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td colspan="2">大西 一史 熊本市長</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td colspan="2">350人（うち、岡谷市民45人）</td> </tr> </table>			開催	7月14日（土）	諏訪市文化センター	演題	熊本地震から学ぶもの ～自助・共助の重要性～		講師	大西 一史 熊本市長		参加者	350人（うち、岡谷市民45人）	
開催	7月14日（土）	諏訪市文化センター														
演題	熊本地震から学ぶもの ～自助・共助の重要性～															
講師	大西 一史 熊本市長															
参加者	350人（うち、岡谷市民45人）															
5	岡谷市自主防災組織連絡協議会 防災研修会	<table border="1"> <tr> <td>開催</td> <td>1月19日（土）</td> <td>諏訪湖ハイツ</td> </tr> <tr> <td>演題</td> <td colspan="2">「災害イメージトレーニング“目黒巻き”」（長野県出前講座）</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td colspan="2">長野県危機管理部職員</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td colspan="2">48人</td> </tr> </table>			開催	1月19日（土）	諏訪湖ハイツ	演題	「災害イメージトレーニング“目黒巻き”」（長野県出前講座）		講師	長野県危機管理部職員		参加者	48人	
開催	1月19日（土）	諏訪湖ハイツ														
演題	「災害イメージトレーニング“目黒巻き”」（長野県出前講座）															
講師	長野県危機管理部職員															
参加者	48人															
前年度の課題への対応	21区の自主防災組織の共通理解を得るため、区長会や各区への訪問を通じて、防災・減災に係わる訓練、補助事業の周知や協力依頼をしたほか、岡谷市自主防災組織連絡協議会内の連携体制を確認した。															

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	出前講座等開催回数			単位	回
実績値	3	9	2		
*指標の説明	出前講座及び研修会の開催回数				
② 成果指標（指標名）	出前講座等参加者数			単位	
目標値	350	350	360	280	
実績値	140	444	149		
達成度	40.0%	126.9%	41.4%		
*指標の説明	出前講座及び研修会に参加した人数				
*目標値の設定方法の説明	出前講座40人/回（5回） 研修会40人/回（2回）				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	771,695	949,904	1,452,566	1,711,000
経常経費	11,695	11,904	11,566	12,000
臨時的経費	760,000	938,000	1,441,000	1,699,000
* 臨時的経費の説明	自主防災組織の防災資機材購入費補助金額			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	2,400,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000
正規職員の人数(人)	0.30	0.35	0.35	0.35
③ 合計コスト(①+②)	3,171,695	3,749,904	4,252,566	4,511,000
前年度比		118.2%	113.4%	106.1%
財源	3,171,695	3,749,904	4,252,566	4,511,000
一般財源				
内訳	0	0	0	0
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	803,898	312,434	1,405,783	
前年度比		38.9%	449.9%	
⑤ コストに関する補足説明	自主防災組織への出前講座等開催回数が減となった。			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
自主防災組織防災資機材購入費補助金	件数	13	14	16	17
	金額	760,000	938,000	1,441,000	1,699,000
各区公会所等耐震診断補助金	件数	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	760,000	938,000	1,441,000	1,699,000
	割合	98.48%	98.75%	99.20%	99.30%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 33.6%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 41.4%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区の組織を基にしている自主防災組織は、縦横のつながりが保たれととも有効であるが、役員改選などで大きく役員が入れ替わる際の、地域の防災力・減災力の維持に不安がある。</li> <li>・区の役員の任期が短い地域では、防災資機材の長期的な整備計画が立てにくい部分がある。</li> <li>・昭和56年以前に建築の区公会所の耐震化への対応が困難になっている。</li> </ul>	
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各区で出前講座を取り入れてもらうよう積極的なアプローチを行う。</li> <li>・区長会や各区への訪問などにより、防災・減災に係る内容の説明を行うとともに区役員とのコミュニケーションを図る。特に、年度当初の対応に配慮する。</li> <li>・耐震診断や耐震改修の補助制度を案内し、耐震化が計画性を持って進められるよう支援を行う。</li> </ul>	
改善開始時期	平成31年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---